

- (1) - 3 生徒が自己有用感を高める学級経営と道徳科教育の充実を図る。
- (1) - 4 経験主義教育の流れをくむ学校行事、生徒活動の充実を図る。
- (2) - 1 文部科学省研究開発学校指定(延長第2年次)を受け、各教科9か年の系統的カリキュラム案について授業実践を通じた教育効果を検証し、考察していく。また、各教科の指導内容の重複や9か年の系統性について教科間連携のもとに研究をすすめる。
- (2) - 2 社会性を育む特別支援学級教育課程と事例研究に継続して取り組む。
- (3) - 1 全国の小中一貫教育学校や義務教育学校とのネットワーク拡充を図り、本校の教育研究成果の積極的な発信に務めるとともに、課題についての情報共有に努める。
- (3) - 2 本校が構築した義務教育学校カリキュラムモデルについて、積極的に情報を発信するとともに、汎用性の検証に継続して取り組む。

## 7. 附属学校園の機能向上に関する具体的な取組

- (1) - 1 京都府・市教育委員会との後援により、研究発表会を開催する。
- (1) - 2 「大学紀要」「センター紀要」等に積極的に投稿するとともに、義務教育学校懇談会で研究成果を公表する。
- (2) - 1 大学教員や各附属学校園の教員と協働して、義務教育学校教育課程研究に継続して取り組むとともに、大学各学科研究や「教育研究改革・改善プロジェクト」による研究に積極的に参画する。
- (3) - 1 総合教育臨床センター学びサポート室共同実践者を選出し、参画する。
- (4) - 1 校務の効率化・情報化とともに、学校行事や教職員の役割分担を見直し、学校業務の適正化を図る。また、部活動の在り方について検討し、順次実施する。

## 8. 年間計画

年月	内容
令和6年3月	学校自己評価実施、学校評価結果及び改善策とりまとめ 育友会総会にて2023年度学校評価結果及び改善策等を保護者に提示
令和6年4月	2024年度学校運営方針、重点等策定 学校通信「紫風」に2024年度学校運営方針、重点等掲載 保護者会等にて2024年度教育活動を保護者に提示 学校評価計画を大学へ報告
令和6年5月	学校評価計画を学校ホームページへ掲載
令和6年6月	学校評議員候補者の確定 学校通信「紫風」に学校評価項目(保護者アンケート)を提示
令和6年7月	
令和6年8月	
令和6年9月	第1回学校評議員会実施
令和6年10月	
令和6年11月	
令和6年12月	
令和7年1月	
令和7年2月	保護者アンケート実施 教職員アンケート実施